

事業報告書

こども活動

① ひとりだちクッキングVer4 つくってたべよっ

7月12日(土)を第1回として12月20日まで6回実施。登録人数26名
講師 竹中リュ子、補助講師6名、会場は北コミセン調理室。毎回家庭で子ども
達が使えるものを中心にメニューを考えて実施した。こどもたちには大好評で来
年もとの声があがっている。

② こどもフラワー教室

7月19日(土)から12月20日(土)まで6回 会場は市民図書館視聴覚室
登録人数は28名。講師 長田真澄ほか補助講師1名で実施した。全体的に集中
してとりくまれ、もの静かな中にも熱い興奮が感じられた。参加者や父母の方
からは来年も、との声があがっている。文化庁より助成

③ コムステサマーキャンプ2014

8月3日から5日 2泊3日南富良野町落合で実施。35名、スタッフ8名
小学生からキャンプに参加している子どもが成長し高校生、大学生ボランティ
アとして活躍。子どもゆめ基金助成

④ いしかりこどもまつり2014

9月14日(土) こども未来館と前空地で実施。826名の参加
未来館こども会議の子ども達が計画から実施まで活躍した。
キッズレザープロジェクト、ジャグリングショ
ー、棒パンづくり、手稲高校書道部パフォーマ
ンス、山口ともさんの「ともとのガラクタ音
楽会」はエンディング、いろいろ釘づけの1日
であった。



⑤ ビスケットであそぼう2014

10月4日(土) こども未来館 24名参加
講師は開発者の原田さんとデジタルポケットの2名。コンピューターの特性や情
報のやりとりの面白さと難しさを体験する講座なのでジワジワと参加希望が増
えている。

子育て支援の活動

① ママパパラインほっかいどう

毎週月曜 13時から16時電話をうけている。今年度は開設42回のうち29件の電話、後援は北海道、石狩市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、北海道小児科医会、社団法人北海道歯科医師会、社団法人石狩医師会 ポスター600枚、カード1500枚、今回はカード入れも用意した。

② 傾聴ボランティア養成講座は10月19日5講座行った。参加者の中には八雲町や留萌市からの参加もあった。

③ アートスタート事業

まっつのよみがたりシアター10月3日(金)会場りんくる視聴覚室

乳幼児の親子対象で、いしかり子育てメッセ内で実施。時間帯と悪天候のため数組という結果に終わった。



研修事業

今年度はじめての実施

第1回5月18日 救命救急講座(石狩消防署) こどもとあそび(小樽キンダリープ杉本さん)

第2回9月21日 自己尊重ワーク(心のジム手塚 手塚千砂子先生)
発達障害の基本理解とその対応と支援(札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる坂井さん)

第3回10月19日 支援者のための怒りのコントロール(ステップあいち竹内さん)

実践!カルテをもとに対処を考える(札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる坂井さん)

第4回12月20日 交流会

第5回2月15日 児童館クラブの体験活動とは(札幌青少年女性協会 下川原さん)

その他の活動

① 科学の祭典 in 石狩2014への協力 8月31日 市民図書館とこども未来館で実施

② 10代のベビーシッター養成講座への協力 9月20日21日2日間3講座と実習への協力

受託事業

① 地域子育て支援拠点

りとりきつずとして広く親しまれている。ボランティアさんも増え地域の拠点として根付いている。

② 地域こども教室

シップこども教室は旧厚田地区のこどもの居場所として八幡こども教室はファイトキッズ（クラブ）と一体的に地域に根差している。

③ 放課後児童会 10 クラブ



内部研修やクラブ合同会議などで指導員の立場や役割について確認してきた。さらに意識を一つにするようすすめていく。

④ 障がい児受け入れ

げんきっ子、キラキラ、花っ子、つくしの各クラブで受け入れた。

指定管理事業

4つの児童館ともそれぞれ特色を出して運営している。

こども未来館、南児童館は中学生が増えている。

北児童館とおおぞら児童館はクラブを休んで一般として来館するこどもが増えている。トラブルもあるが自分達で解決できるよう指導している。

その他

・児童厚生員基礎研修会

大阪、静岡、埼玉の3会場に4人の指導員を送り出した。

また小樽会場には13名の指導員が参加した。

・第14回全国児童館・児童クラブ大会「じどうかんルネサンス」

1月24日、25日 東京青山 児童館及び放課後クラブ主任11名参加

・新入職員の館内、クラブ間研修も随時行っている。

・支援拠点職員の研修 12月20日 北海道庁

・理事会の開催 4回

・h p 随意

・コムステ通信の発行 1回